

皿倉登山鉄道株式会社

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 福本 啓二（令和 6 年 6 月 28 日就任）

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8 人	0 人	1 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	9 人	0 人	1 人	8 人

7 市からのミッション

本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

II 令和 5 年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行しており、皿倉山頂展望台の管理運営業務等を市から受託している。

令和 5 年度は、ケーブルカーの乗客数が昭和 32 年 11 月の開業から 66 年をかけて、12 月 18 日に 1,500 万人を達成した。

また、新たに無料シャトルバス「小倉駅便」を夜景観賞の観光客をターゲットに運行するとともに、公募選定の事業者による展望台レストラン「天宮-TEN・KYU-」をオープンした。

一方、市事業により、展望台トイレやレストラン内装の改修、山頂広場の休憩施設の新築などが行われ、観光客などがより快適に利用できる環境整備が図られた。

1 輸送人員

春期は天候不良、夏期は酷暑などの影響で低調だったものが、秋期以降は紅葉鑑賞客が多数に及んだことや外国人観光客が回復してきたことなどで好調に転じたが、ケーブルカー、スロープ

カーを合わせた輸送人員は45万人で、前年度比10万6千人(20.0%)の減となった。

なお、コロナ禍前(令和元年)との比較では、1万5千人(3.5%)の増であった。

2 営業損益

営業収益は、1億7,418万円(前年度比1,612万円減)となった。

営業費は1億7,407万円(前年度比414万円減)となり、冬季の営業損益は11万円(前年度比1,198万円減)の黒字となった。

3 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、153万円(前年度比1,215万円減)の黒字となった。

4 当期純損益

上記経常損益から特別損益を加え、法人税等を差し引いた当期純損益では、127万円(前年度比971万円減)の黒字となった。

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表

令和6年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	125,583,948	流 動 負 債	35,198,090
現 金 及 び 預 金	91,411,511	買 掛 金	2,160
未 収 運 賃	590,760	一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	5,099,999
未 収 入 金	28,580,354	未 払 費 用	25,441,863
商 品	666,373	前 受 金	10,179
貯 蔵 品	4,275,550	預 り 金	345,569
前 払 費 用	59,400	仮 受 金	60,220
		未 払 法 人 税 等	40,500
		未 払 消 費 税	2,027,600
		賞 与 引 当 金	2,170,000
固 定 資 産	39,611,619	固 定 負 債	26,876,019
鋼 索 鉄 道 事 業 固 定 資 産	19,070,767	長 期 借 入 金	25,700,019
そ の 他 事 業 固 定 資 産	473,722	退 職 給 付 引 当 金	1,176,000
投 資 そ の 他 の 資 産			
投 資 有 価 証 券	20,000,000		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	62,074,109
長 期 前 払 費 用	57,130	(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	103,121,458
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	93,121,458
		そ の 他 利 益 剰 余 金	93,121,458
		繰 越 利 益 剰 余 金	93,121,458
		(うち 当 期 純 利 益)	(1,278,704)
		純 資 産 合 計	103,121,458
資 産 合 計	165,195,567	負 債 ・ 純 資 産 合 計	165,195,567

2 損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
鋼索鉄道事業		
営業収益	121,412,895	
営業費	149,203,621	
営業損失		27,790,726
その他の事業		
営業収益	52,773,251	
営業費	24,870,015	
営業利益		27,903,236
全事業営業利益		112,510
営業外収益		1,593,011
受取利息及び配当金	16,303	
雑収入	1,576,708	
営業外費用		168,310
支払利息	125,650	
雑支出	42,660	
経常利益		1,537,211
特別利益		
固定資産売却益		—
特別損失		
固定資産除却損		—
税引前当期純利益		1,537,211
法人税、住民税及び事業税		258,507
当期純利益		1,278,704

IV 令和6年度事業計画

令和6年度においても、安全運行の徹底を基本としつつ、さらなる利用者サービスの向上や集客対策に努め、皿倉山の観光振興については北九州市の観光振興に最大限寄与できるようケーブルカー・スロープカーの運行事業に取り組むこととする。

また、皿倉山リニューアル計画の最終工事となる天空ドームの改修、大型ブランコや滑り台など遊具の新設、併せて山上駅の外壁改修・耐震補強工事が進められるなど、観光客や登山客などがより快適に滞在できる施設環境の整備が図られる予定である。

1 運行計画

運行日数 303日（休日117日、平日186日）

※休日は、日曜、土曜、祝日休日及び1月2日・3日

運休日数 62日（火曜日45日、定期点検5日、大規模メンテナンス12日）

運行時間 4月～10月 10：00～22：00（上り最終21：20）

11月～3月 10：00～20：00（上り最終19：20）

2 安全運行の遵守

鋼索鉄道事業であるケーブルカーの安全運行や長寿命化を図るため、ケーブルカー電気設備の保守管理について、これまでの「事後保全」から「予防保全」に転換するとともに、安全目標のもと業務マニュアルの遵守、車両や運転施設のきめ細やかな点検・整備を日常の業務から実践する。

また、外部専門研修会への派遣、九州運輸局や市との運輸安全マネジメントに関する会議への出席を通じて、車両保守を担う職員の資質・スキルの向上に努める。

3 利用者数と運輸収入の目標

令和5年度秋口からの利用者数の増加や、個人旅行による訪日外国人の増加などを踏まえ、ケーブルカーの利用者数は25万人、運輸収入（ケーブルカーとスロープカーの合計）は1億2,000万円（税抜き）を目標とし、これにより当期損益の黒字を目指す。

4 集客対策

(1) イベント等企画事業

平成19年12月に開業したスロープカーの利用者数300万人突破（5月見込）を記念したイベントを実施する。

また、市からの受託収入の減少があり一部のイベント開催を見直すものの、長年定着して来場者に好評なゴールデンウィーク、クリスマス、バレンタインなどのナイトライブや天体観測会を開催する。

また、利用者へのおもてなしとして、七夕飾り、紅葉ライトアップ、クリスマスイルミネーション飾りなど季節ごとの飾り付けを行う。

(2) 観光・宿泊事業者との連携

訪日外国人の増加を見据えつつ、市をはじめ旅行会社や市内のホテル・宿泊施設との連携をさらに強める。また、県内小学校などを対象に遠足・社会見学先としての誘致活動に積極的に取り組む。

(3) 新たな割引乗車券企画の実施

季節や天候による利用者状況を踏まえつつ、期間限定割引や雨天割引など利用者サービスの向上につながる新たな割引乗車券を企画・実施する。

(4) 幅広い情報発信

イベントや営業情報について、ホームページを基本に、X、フェイスブック、インスタグラムといった SNS を活用して、タイムリーでわかりやすい情報発信を積極的に行う。

また、西鉄天神バスターミナルのサイネージ広告の継続、費用対効果を踏まえた民間情報誌への掲載に取り組むとともに、起業祭や黒崎こども商店街など地域イベントで PR ブースの出店を行い、地域振興にも寄与する。

V 令和6年度予算

予定損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
営 業 収 益	157,000
ケーブルカー営業収入	79,300
スロープカー営業収入	40,300
受託事業収入	34,000
その他営業収入	3,400
営 業 費 用	153,520
人件費	100,000
動力費・油脂系屑費	3,000
修繕費	18,000
広報宣伝費	3,300
委託料	8,000
備消耗品費	4,500
水道光熱費	5,800
減価償却費	3,900
その他営業費用	7,020
営 業 利 益	3,480
営 業 外 収 益	42
営 業 外 費 用	144
経 常 利 益	3,378
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	3,378
法人税、住民税及び事業税	761
税 引 後 当 期 純 利 益	2,617

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	福本啓二	
専務取締役	欠員	
取締役	小林亮介	北九州市政策局長
〃	武田信一	北九州市財政・変革局長
〃	井上保之	北九州市都市ブランド創造局長
〃	石川達郎	北九州市都市整備局長
〃	喜洲淳哉	北九州市八幡東区長
監査役	小島庸匡	公認会計士
〃	山口奈穂子	北九州市都市ブランド創造局観光にぎわい部長

2 市との特命随意契約の状況（令和5年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉地区観光 来訪者対応業務	30,155	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	館内清掃 (日常清掃)	1,100	株式会社 椋組	随意契約 (特命)	効率的・適切に一定の環境美化を保持するため専門業者による業務履行が必要なため。
			館内清掃 (定期清掃)	161	有限会社 ワールド サンエイ	随意契約 (特命)	効率的・適切に一定の環境美化を保持するため専門業者による業務履行が必要なため。
			浄化槽保守	462	株式会社 椋組	随意契約 (特命)	寒冷差が大きい環境で、夜間を含め臨機応変に緊急対応できる能力を有するため。
			昇降機設備保守	1,465	ダイコー 株式会社	随意契約 (特命)	対象設備の技術情報を保有する同社しか、速やかな故障等への対応ができないため。
			自家用電気工作物保守	475	中原電気 管理事務所	随意契約 (特命)	他の電気動力設備の保守管理と一体的に実施することで、円滑な業務の実施が可能であるため。
			消防設備保守	66	株式会社 東和防災 システム	随意契約 (特命)	少額随意契約(1件5万円以下) 2件
			空調設備保守	176	スガハラ テクノ株 式会社	随意契約 (特命)	寒冷差が大きい環境で、夜間を含め臨機応変に緊急対応できる能力を有するため。
			ジアウトレット 北九州シャトル バス運行	9,878	株式会社 クマランド	随意契約 (特命)	バスの運行に際し、国土交通省の一般貸切旅客事業の許可を要するため。
皿倉山ケーブル カーオーバー ホール等業務	14,916	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	皿倉山ケーブル カー整備業務 (車両タッチパ ネル更新、鋼索 切詰、車輪交換 整備・ゴムベア リング交換、サ イリスタ予備品 購入)	13,754	日本ケー ブル株式 会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したケーブルカー施設で、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術を必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている唯一の業者であるため。
			皿倉山ケーブル カー客車座席座 面補修業務	572	藤本興行 株式会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したスロープカーで、業務実施にあたっては特殊な専

							門知識や技術を必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている業者であるため。
			皿倉山ケーブルカー軌道道床部分の補修業務	770	日鉄テックスエンジニア株式会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したスロープカーで、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術を必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている業者であるため。
皿倉山山頂展望台トイレ改修工事に伴う仮設トイレ設置業務	1,894	皿倉山施設を管理・運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	仮設トイレ設置業務	1,722	大洋装備株式会社	随意契約 (特命)	専門知識や技術が必要であるため。
皿倉山・JR小倉駅シャトルバス追加運行業務	1,287	シャトルバスを運行している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	シャトルバスの運行業務	1,287	株式会社クマランド	随意契約 (特命)	バスの運行に際し、国土交通省の一般貸切旅客事業の許可を要するため。
皿倉山展望台おもてなし向上業務	2,080	皿倉山施設を管理・運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	ポケットーク(AI通訳機)購入業務	89	山形屋商事株式会社	随意契約 (特命)	専門知識や技術が必要であるため。
			展望台2階トイレグレードアップ業務	1,991	有限会社緒方建設	随意契約 (特命)	専門知識や技術が必要であるため。
皿倉山ケーブルカー軌道周辺支障木伐採及び剪定業務	1,000	軌道周辺での伐採は安全上の問題から、ケーブルカー運休時にしか作業できないため、ケーブルカー運行者である皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	ケーブルカー軌道の安全の支障となる樹木の伐採及び剪定業務	1,000	北九州市森林組合	随意契約 (特命)	専門知識や技術が必要であるため。
皿倉山ケーブルカー2号車不具合調査業務	824	ケーブルカー及びスロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉展望台レストラン床カーペット設置業務	787	皿倉山施設を管理・運営し、レストラン運営者と契約している皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				

皿倉山イルミネーション電気機器・配線設置業務	660	皿倉山施設を管理・運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山頂展望台シャッターメンテナンス業務	583	皿倉山施設を管理・運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山ケーブルカー山麓駅等安全対策業務	980	ケーブルカー及びスロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山スロープカー床張替業務	776	ケーブルカー及びスロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉ケーブルカー導車部品購入業務	972	ケーブルカー及びスロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
帆柱自然公園及び皿倉登山道維持管理業務	3,329	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	登山等の巡視、ボランティアの育成及び帆柱自然公園利用者への指導等	500	特定非営利法人帆柱自然公園愛護会	随意契約(特命)	同団体は、帆柱自然公園ないにおいて、日常的に自然公園や動植物の保全・保護活動を行っている。その時々々の現地の状況を熟知しており、連携した明確な巡視・通報、指導が可能であるため。
			GW期間の表登山道入口通行止めにかかる警備及び誘導業務	717	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
			帆柱自然公園初日登山等警備業務	431	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
合計	60,243		合計	36,616			